

会 議 録

【事業番号3 ファミリーサポートセンター運営事業費】

- 1 会議名 平成28年度第3回市民行政評価委員会（事務事業第2回）
- 2 日 時 平成28年10月26日（水）午後2時5分～2時50分
- 3 場 所 議会第3委員会室
- 4 出席者
 - (1) 市民行政評価委員会委員
岡田委員長、村田委員、林委員、山崎委員、寺田委員、
大家委員、喜成委員、藤田委員、安田委員
 - (2) 事業担当課（こども政策推進課）
西尾課長、桜田主査
 - (3) 事 務 局（行政経営課）
村角課長、松本課長補佐、島崎係長、神田主査、佐藤主査
- 5 審議内容
 - 評 価 委 員 ： 依頼会員が年々増加してきているが、それに対して受入れ（提供会員数）は対応できているか。（事前質問）
 - 事業担当課 ： 依頼に対して全てマッチングできている。同じ地域内の会員同士のマッチングを基本としているが、近隣の地域の提供会員にお願いすることもある。なお、依頼会員が年々増加している理由の一つとして、こどもが中学生になった後も会員登録を継続していることが挙げられる。恐らく、次子が生まれた場合を見越したものと思われるが、一度整理する必要があると考えている。
 - 評 価 委 員 ： 提供会員が辞めていく理由は何か。その理由別人数は。（事前質問）
 - 事業担当課 ： ほとんどが市外転出や病気、高齢のためである。なお、人数は集計してない。
 - 評 価 委 員 ： サービス水準等で依頼側と提供側との間でトラブルはないか。あるとすれば内容別件数は。（事前質問）
 - 評 価 委 員 ： 援助の対象が「物」より「人」の場合、特に神経を使うが、今までどのようなトラブルがあったか、またその件数は。（事前質問）

事業番号3 ファミリーサポートセンター運営事業費

事業担当課 : 過去 12 年間に於いて 4 件あった。内訳は、料金未払いが 3 件、最初の 1 時間分が無料になる「すまいるクーポン」の受け渡しトラブルが 1 件であった。その他クレーム以外では、依頼会員と提供会員のペア期間が長くなると依頼会員の要求レベルが上がってくるといった相談があったほか、提供会員が依頼会員に合わせて無理をしたため負担が重くなり暫く休会した方もいると聞いている。

評価委員 : 依頼会員数が増加しているのに、相互援助活動件数が減少している理由としてどんな仮説を立てているか。(事前質問)

事業担当課 : 正直なところ明確な理由は分からない。考えられることとしては、援助する子どもの数をベースとした件数のカウント方法が影響している可能性がある。例えば、兄弟 2 人を朝夕保育所に送迎する活動は 1 日で 4 件となる。毎日のように 1 日 4 件の利用をしていた方が利用をやめると件数が大幅に減少する。そういった影響もあると思われる。なお、平成 27 年度の利用件数が 320 件増加している理由は、子ども・子育て支援制度が新たにスタートしたことに伴い、保育園に通う子どもが増えたことが影響していると考えられる。

評価委員 : 援助活動内容の内訳やよくある事例。(事前質問)

事業担当課 : 追加資料提供。

評価委員 : 民間における同様のサービスに比べて特化した点や、もし分かれば利用のシェア率をお教え頂きたい。(事前質問)

事業担当課 : 民間の同様のサービスに比べ、対象年齢が小学生までと幅広い。また、料金が一律で分かりやすい制度であると考えている。なお、利用のシェア率については把握していない。

評価委員 : 提供会員を増加させるため、研修会を土曜日に開催することを検討したことはあるか。

事業担当課 : 検討したことはあるが、平日の研修に出られるような生活の方で

事業番号3 ファミリーサポートセンター運営事業費

ないと、サービスの提供が難しいという実態があることを踏まえ、平日開催を継続することとした。

評価委員：平日仕事についている方でも、勤務時間前のこどもの送迎であれば活動できる。私自身、日中仕事をしている身だが、提供会員になるため平日の講習を受けた。普通救命講習は別途受講する機会を探することができるが、残り2日のいずれかだけでも土曜日開催にすれば参加しやすい方が増えると思われる。一度ご検討いただけるとありがたい。

事業担当課：研修会のアンケート回答では、平日開催の希望が多かったが、今後、土日開催を希望する声が増えるようであれば検討したい。

評価委員：ファミリーサポートセンター（以下「ファミサポ」）の使い勝手が悪いとの声を母親達や団体から聞くことがある。そういった利用者の声を吸い上げる仕組みはあるか。

事業担当課：要望等については、その都度ファミサポ事務局に問い合わせさせていただき、そこからお声を吸い上げていきたい。

評価委員：核家族化や少子化という時代の背景を考えれば、この事業は非常に重要であり、今後とも続けていただきたい事業である。先述されたような事情で依頼会員の登録数が膨らんでいるものの、今のところ提供会員と依頼会員のバランスは取れているようだが、今後の見通しとしてはどうか。

事業担当課：依頼会員については、本当にサービスが必要な方に限定するよう一度整理する必要があると考えている。それにより、会員数の上でもバランスのとれた適正水準になると思っている。提供会員については今後も募集に努め、ボランティア大生や修了生へのチラシ配布等のほか、地道に周知の範囲を広げていきたい。

評価委員：他都市の好事例を調査し、取り入れてみてはどうか。

事業担当課：提供会員の増加に効果を上げている例があれば、具体的な方法を聞いて参考にしたい。

評価委員：民間でも類似のサービスを提供しているが、将来の展開として、

事業番号3 ファミリーサポートセンター運営事業費

民営化を含めた積極的な民間活用について検討しているか。

事業担当課 : 国の子ども・子育て支援制度における地域子育て事業において市町村主体でファミサポ事業を実施することとされており、この方針が見直されない限り今後とも市が継続していくべきと考えている。また、本市内で展開されている類似の民間サービスは、一時預かりのみ取り扱っているが、ファミサポは一時預かり以外にも病後児の世話など支援の幅が広い。こういった違いもあり、全て民間サービスで代替できるものではないが、一時預かりに関しては今後のニーズを見て、場合によっては民間の活用も視野にいれながら事業を進めていきたい。

評価委員 : 会員間で整理される利用料を含め、ファミサポに関わる全体の費用はいくらか。

事業担当課 : 会員間で整理される経費は把握していない。また、活動時間の資料を持ち合わせていないため、この場で概算をお示しすることも難しい。

評価委員 : すまいるクーポンにかかる経費はこの事業に含まれているのか。

事業担当課 : すまいるクーポンは平成 27 年度から開始した事業で、ファミサポとは異なる事業として実施している。予算も別である。なお、すまいるクーポンは、ファミサポ利用に係る 1 時間無料券 35 枚のほか、親子のお出かけ施設の無料クーポンや絵本の引換券など子育て支援に役立つクーポンを集めたものである。

評価委員 : ファミサポ関連の支援としては、35 時間分の利用にかかる経費が助成されるということか。

事業担当課 : お見込みのとおり、金額にすると 24,500 円分の助成である。ただし、各回最初の 1 時間分が対象なので、それ以上の利用分は利用者の負担となる。

評価委員 : 私自身、すまいるクーポンを頂いているが、ファミサポの無料券のことを認識していなかった。すまいるクーポン配布時に PR してはどうか。

事業担当課 : ご意見として承った。更に PR に努めていきたい。

事業番号3 ファミリーサポートセンター運営事業費

- 評価委員 : 事件、事故、災害といった不測の事態が起きた場合の責任はどうか。そういったトラブルに備えるための指導を行っているか。
- 事業担当課 : 会員登録の際、説明している。また、ファミサポ事業として保険に入っているので、援助活動中のこどもの怪我や、活動に向かう間の交通事故等については保険が適用される。ファミサポ事業を執行する上で事故が発生した場合、会員に金銭的な負担がかからないような仕組みになっている。
- 評価委員 : 仮に訴訟となった場合の対応はどうか。
- 事業担当課 : その場合の保険適用については、調べないと正確にお答えできない。
- 評価委員 : 提供会員になりたいと思っても、事故や災害のため預かった方をサポートできなかった場合を想像すると躊躇してしまう。責任の分担や保険契約など、万が一に対する知識や備えについても明確にしておくべきである。
- 事業担当課 : これまでは子どもを預かる活動の中で発生した事故や怪我などを中心に考えていたが、今後はそういった点まで範囲を広げて考えていきたい。